

TICKET RESERVING ISSUING SYSTEM

Publication number: JP2002260022 (A)

Publication date: 2002-09-13

Inventor(s): WATANABE KENJI +

Applicant(s): NIPPON SIGNAL CO LTD +

Classification:

- international: G06Q10/00; G06Q30/00; G06Q50/00; G07B1/00; G06Q10/00; G06Q30/00; G06Q50/00; G07B1/00; (IPC1-7): G06F17/60; G07B1/00

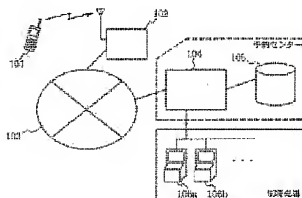
- European:

Application number: JP20010060819 20010305

Priority number(s): JP20010060819 20010305

Abstract of JP 2002260022 (A)

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a ticket reserving issuing system requiring no delivery of a reserved ticket via manpower at the window of a station, and having high facility in issuing the reserved ticket. **SOLUTION:** A portable terminal 101 has the function to be connected to an Internet, and can be connected to the Internet 103 via a base station 102. While, a reservation center side reservation control device 104 is connected to the Internet 103. The reservation control device 104 has the function as a Web server for disclosing a reserving Web page, and accepting reservation of the reserved ticket on a Web, and has the function as a mail server for transmitting and receiving e-mail between the device 104 and the portable terminal 101. The reservation control device 104 has a database 105, and controls reservation information as the database. Automatic ticket vending machines 106a, 106b, etc., are arranged at ticket offices of respective stations, and these machines are connected to the reservation control device 104.



Data supplied from the *espacenet* database — Worldwide

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	メモコード (参考)
G 0 7 B 1/00		G 0 7 B 1/00	C
G 0 6 F 17/60	1 1 2	G 0 6 F 17/60	1 1 2 H
	3 1 0		3 1 0 C
	3 2 2		3 2 2
	5 0 2		5 0 2

審査請求 未請求 請求項の数 4 O L (全 7 頁) 最終頁に続く

(21) 出願番号 特願2001-60819(P2001-60819)

(22) 出願日 平成13年3月5日 (2001.3.5)

(71) 出願人 000004651

日本信号株式会社

東京都豊島区東池袋三丁目1番1号

(72) 発明者 渡辺 賢二

栃木県宇都宮市平出工業団地11番地2 日

本信号株式会社宇都宮事業所内

(74) 代理人 100085660

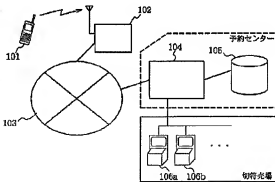
弁理士 鈴木 均

(54) 発明の名称 予約発券システム

(57) 【要約】

【課題】 駅の窓口で人手を介して指定券を引き渡す必要がなく、指定券を発券する上で利便性の高い予約発券システムを提供する。

【解決手段】 携帯端末101はインターネットに接続するための機能を備え、基地局102を介してインターネット103に接続可能となっている。一方、予約センター側の予約管理装置104もインターネット103に接続している。予約管理装置104は予約用ウェブページを公開し、ウェブ上で指定券の予約を受け付けるウェブサーバとしての機能を有し、また携帯端末101との間で電子メールを送受信するメールサーバとしての機能を有する。またこの予約管理装置104はデータベース105を備えており、予約情報をデータベースとして管理する。各駅の切符売場には自動券売機106a、106b、…が設けられており、これらは予約管理装置104と接続している。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 指定券の予約を受け付けて当該指定券の発券を行う予約発券システムであって、指定券の予約を受け付ける機能、予約情報を管理する機能および電子メールを送受信する機能を備えた予約管理装置と、指定券を発券する機能を備え固有のメールアドレスが割り当てられた自動券売機からなり、

前記予約管理装置は、指定券の予約を受け付けた際に得られる携帯端末のメールアドレスに対して予約IDメールを送信し、当該携帯端末から前記自動券売機に割り当てられたメールアドレスに対して前記予約IDメールが転送された場合にこれを受信し、当該予約IDメールの送信先とされた前記メールアドレスから前記自動券売機を特定して当該自動券売機に予約情報を送信し、

前記自動券売機は、当該予約情報に基づき前記指定券を発券することを特徴とする予約発券システム。

【請求項2】 請求項1記載の予約発券システムにおいて、前記自動券売機が前記固有のメールアドレスを表示することを特徴とする予約発券システム。

【請求項3】 指定券の予約を受け付けて当該指定券の発券を行う予約発券システムであって、指定券の予約を受け付ける機能、予約情報を管理する機能および電子メールを送受信する機能を備えた予約管理装置と、指定券を発券する機能および光通信機能を備えた自動券売機からなり、

前記予約管理装置は、指定券の予約を受け付けた際に得られる携帯端末のメールアドレスに対して予約IDメールを送信し、当該携帯端末から前記自動券売機に前記予約IDメールが光通信によって直接転送された場合にこれを受信し、

前記自動券売機は、前記予約IDメールを前記予約管理装置に送信することにより前記予約IDメールに対応する予約情報を取得し、当該予約情報に基づき前記指定券を発券することを特徴とする予約発券システム。

【請求項4】 指定券の予約を受け付けて当該指定券の発券を行う予約発券システムであって、指定券の予約を受け付ける機能、予約情報を管理する機能および電子メールを送受信する機能を備えた予約管理装置と、指定券を発券する機能および省電力無線通信機能を備えた自動券売機からなり、

前記予約管理装置は、指定券の予約を受け付けた際に得られる携帯端末のメールアドレスに対して予約IDメールを送信し、当該携帯端末から前記自動券売機に前記予約IDメールが無線通信によって直接転送された場合にこれを受信し、

前記自動券売機は、前記予約IDメールを前記予約管理装置に送信することにより前記予約IDメールに対応する予約情報を取得し、当該予約情報に基づき前記指定券を発券することを特徴とする予約発券システム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明に属する技術分野】本発明は、予約発券システムに関し、特に携帯端末からの予約に基づき自動券売機より指定券を発券するシステムに関する。

【0002】

【従来の技術】最近、インターネット上で新幹線や特急列車等の指定席を予約するサービスが提供されている。このサービスは、予約センターの予約管理装置から予約用のウェブページを提供し、予め会員登録した利用客が、予約用ウェブページ上でユーザIDや暗証番号を入力し、また希望の列車や座席等を入力して申し込みを行うことにより予約を行うものである。予約結果は予め登録された指定のメールアドレスに電子メールで返信される。予約が成立した場合には、会員登録時に予め指定されたクレジットカードから料金が引き落とされる。このようにインターネット上で予約を申し込み、予約のためにいちいち駅まで出向く必要がなく非常に便利である。利用客はこの予約した指定券を駅の窓口にて受け取る。利用客は窓口にてユーザIDを示すことにより、またユーザIDを忘れた場合には身分証明を行うことにより本人確認が行われる。その確認後、券売機にて発券処理が行われて指定券が提供される。この予約発券システムは、係員の操作により発券処理が行われる券売機と、上述したインターネット上で予約を受け付けるための予約センター側の予約管理装置とが通信接続された構成であり、窓口の係員が発券機にユーザIDとその指定券番号等の情報を入力することにより、予約情報がセンターから送られてくるので、これが券紙に磁気的に記録されて発券される。なお普通列車の乗車券の場合には、駅の切符売場に設けられた自動券売機を利用して、料金表を参照しながら目的駅までの料金を特定し、その料金を自動券売機に投入して運賃ボタンを押すことにより、乗車券から目的駅までの乗車情報が券紙に記録されて発券される。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、上述した従来の予約発券システムにおいては、利用客が指定券を受け取る際にユーザIDを窓口で示す必要があるため、予約コードを忘れてしまった場合は窓口における本人照合の手続きが煩雑となり不便が多い。またそのような本人確認の必要な場合があることから、指定券の月渡しは窓口にて人手により行われており、係員の手続負担は極めて大きい。本発明は上記事情に鑑みてなされたものであり、駅の窓口で人手を介して指定券を引き渡す必要がなく、指定券を発券する上で利便性の高い予約発券システムを提供することを目的とする。

【0004】

【課題を解決するための手段】上記課題を解決するため、請求項1記載の発明は、指定券の予約を受け付けて当該指定券の発券を行う予約発券システムであって、指定券の予約を受け付ける機能、予約情報を管理する機能

および電子メールを送受信する機能を備えた予約管理装置と、指定券を発券する機能を備え固有のメールアドレスが割り当てられた自動券売機からなり、前記予約管理装置は、指定券の予約を受け付けの際に得られる携帯端末のメールアドレスに対して予約IDメールを送信し、当該携帯端末から前記自動券売機に割り当てられたメールアドレスに対して前記予約IDメールが転送された場合にこれを受信し、当該予約IDメールの送信先とされた前記メールアドレスから前記自動券売機を特定して当該自動券売機に予約情報を送信し、前記自動券売機は、当該予約情報に基づき前記指定券を発券することを特徴とする。また請求項2記載の発明は、請求項1記載の予約発券システムにおいて、前記自動券売機が前記固有のメールアドレスを表示することを特徴とする。

【0005】また請求項3記載の発明は、指定券の予約を受け付けて当該指定券の発券を行う予約発券システムであって、指定券の予約を受け付ける機能、予約情報を管理する機能および電子メールを送受信する機能を備えた予約管理装置と、指定券を発券する機能および光通信機能を備えた自動券売機からなり、前記予約管理装置は、指定券の予約を受け付けの際に得られる携帯端末のメールアドレスに対して予約IDメールを送信し、当該携帯端末から前記自動券売機に前記予約IDメールが光通信によって直接転送された場合にこれを受信し、前記自動券売機は、前記予約IDメールを前記予約管理装置に送信することにより前記予約IDメールに対応する予約情報を取得し、当該予約情報に基づき前記指定券を発券することを特徴とする。また請求項4記載の発明は、指定券の予約を受け付けて当該指定券の発券を行う予約発券システムであって、指定券の予約を受け付ける機能、予約情報を管理する機能および電子メールを送受信する機能を備えた予約管理装置と、指定券を発券する機能および省電力無線通信機能を備えた自動券売機からなり、前記予約管理装置は、指定券の予約を受け付けの際に得られる携帯端末のメールアドレスに対して予約IDメールを送信し、当該携帯端末から前記自動券売機に前記予約IDメールを無線通信によって直接転送された場合にこれを受信し、前記自動券売機は、前記予約IDメールを前記予約管理装置に送信することにより前記予約IDメールに対応する予約情報を取得し、当該予約情報に基づき前記指定券を発券することを特徴とする予約発券システム。

【0006】

【発明の実施の形態】以下、本発明の実施の形態を図面に基づき詳細に説明する。図1は、本発明の実施の形態に係る予約発券システムの全体構成を示す概略図である。携帯端末101は、携帯電話機、PHS、PDAといった可搬型の通信端末であり、しかもインターネットに接続するための機能を備え、電気通信事業者の基地局102を介してインターネット103に接続可能となっ

ている。一方、予約センター側の装置である予約管理装置104もインターネット103に接続している。予約管理装置104は予約利用ウェブページを公開し、ウェブ上で指定券の予約を受け付けるウェブサーバとしての機能を有し、また携帯端末101との間で電子メールを送受信するメールサーバとしての機能を有する。またこの予約管理装置104はデータベース105を備えており、予約情報をデータベースとして管理する。各駅の切符売場には自動券売機106a、106b、…が設けられており、これらは予約管理装置104と接続している。

【0007】図2は自動券売機106の外観構成を示す正面図である。その基本構成は一般的な自動券売機とはほぼ同様であり、タッチパネル式の操作表示部201と、紙幣投入口202と、硬貨投入口203と、クレジットカード挿入口204、プリペイドカード挿入口205、発券口206とを備えている。この自動券売機106は、目的駅までの料金が投入され運賃ボタン201aが押された場合に、そのについての発券処理を行う通常の発券機能のほか、予約管理装置104から送られてくる予約情報を処理して指定券の発券処理を行う予約発券機能を備えている。このような自動券売機は、従来からあるネットワーク管理機能を備えた自動券売機をハードのほとんどと変更することなく、ソフトウェアを変更するだけで実現することができる。

【0008】図3は操作表示部201に表示される操作画面の一例を示す図である。図3(a)は、通常発券モードの操作画面を示したものである。通常発券モードでは、操作表示部201に基本画面として運賃ボタン201aが表示されており、利用客が現金を投入した上で運賃ボタン201aを押すとその発券処理が行われて乗車券が発券される。すなわち紙幣投入口202または硬貨投入口203から所定の料金を投入すると、操作表示部201にはその金額の範囲内で購入可能な乗車券の運賃ボタン201aが強調表示されるので、これをクリックすると発券処理がなされて、発券口206より所定の乗車券が発行されるものである。このときの決済は、現金のほか、クレジットカード挿入口204にクレジットカードを挿入してクレジット決済により購入することも可能であり、予め所定金額を支払って購入したプリペイドカードをプリペイドカード挿入口204に挿入してプリペイド方式により決済を行うことも可能である。図3(b)は、メール予約発券モードの操作画面を示したものである。メール予約発券モードは、通常発券モードの基本画面には、上述した運賃ボタンのほかメール予約発券モードに切り替えるための「メール予約発券」ボタン201bを表示しており、これが押されたときに通常発券モードからメール予約発券モードに移行する。メール予約発券モードでは、図3(b)に示すように、まず操作表示部201に自己のメールアドレスおよび発券手続

案内を表示する。その後、予約管理装置104から転送されてくる予約情報で処理して発券処理を行い、必要であれば併せて決済処理を行った後、乗車券を発券口206より発行する。以上のようなシステム構成において、携帯端末101から指定券を予約する場合には、まず基地局102からインターネット103を経由して予約センターの予約管理装置104にアクセスし、そのウェブページ上で指定券の予約を行う。このとき予約管理装置104はウェブサーバとして機能し、携帯端末101の表示画面には予約用ウェブページが表示される。

【0009】図4は予約用ウェブページの一例を示す図である。携帯端末101の表示画面にはまず図4(a)に示すような必要事項の入力欄が表示される。利用客が携帯端末101を操作して、乗車駅名、降車駅名、乗車希望時刻、到着希望時刻、携帯端末のメールアドレス等の予約に必要な事項を各入力欄に入力すると、この入力情報に基づき予約管理装置104はデータベースを参照しながら予約処理を行う。なお乗車経路が複数ある場合には図示を省略するが経路選択画面を表示し、経路選択も行わせる。そして指定の指定券が予約可能な場合には図4(b)に示すように予約内容を携帯端末101の表示画面に表示させる。この指定券を予約する場合には、利用客は画面に表示された「確認」ボタンをクリックする。なお会員登録した利用客についてはクレジットカード番号が登録されているので、この確認と同時に自動的にクレジットカードによる決済を実行する。非会員については確認の際にクレジット番号等の入力欄等を表示させ、予約時に決済を行わせることも可能である。以上の操作により予約が完了し、その旨を図4(c)のように表示する。予約が完了すると、その予約内容は予約情報としてデータベース105に登録されると共に、予約管理装置104は予約結果および予約コードを記録した電子メール（以下予約IDメールという）を自動的に作成し、携帯端末101にに対し予約IDメールを送信する。このとき予約管理装置104はメールサーバとして機能する。予約IDメールは、インターネット経由で送られて携帯端末101によって受信され、携帯端末101内のメモリに登録される。

【0010】予約した指定券は自動券売機106より提供される。例えば自動券売機106aが利用される場合には、まず自動販売機106aに割り当てられたメールアドレスに対して携帯端末101から予約IDメールを転送する。この予約IDメールは基地局102からインターネット103を経由して予約センターの予約管理装置104に送られる。予約管理装置104は、予約IDメールの認証を行った後、予約IDメールの受信先アドレスとして指定されたメールアドレスから利用客が現在利用している自動券売機が自動券売機106aであることを識別する。予約管理装置104は、予約IDメールに基づいてデータベース105から予約情報を取り出

し、これを自動券売機106aに転送する。自動券売機106aはこの予約情報を処理し、券紙に乗車情報を磁気的に記録しかつ印字する発券処理を行い、これを発券口より発行する。なお予約時に利用客が料金を支払っていない場合には、予約情報からそのことを認識するのでも、自動券売機106aは料金の支払いを要求することも可能である。この要求は自動券売機106aの操作表示部に表示される。現金、クレジットカードまたはプリペイドカードのいずれかにより料金が支払われた場合には、自動券売機106aは決済処理を行った後、券紙に乗車情報を磁気的に記録しかつ印字する発券処理を行い、これを発券口より発行する。

【0011】以上のような予約発券システムにおいて利用客が予約後の指定券を実際に受け取る場合の手順は次のようになる。利用客は予約IDメールが保存された携帯端末101を持って駅の切符売場に出向き、自動券売機より発券される指定券を受け取る。そのため複数ある自動券売機106の中から適当な自動券売機（例えば自動券売機106a）を選び、その操作表示部に基本画面として表示されている「メール予約発券」ボタンをクリックする。これにより、自動券売機は通常発券モードからメール予約発券モードとなり、操作表示部にメールアドレスが表示されるので、このメールアドレスに対して携帯端末から予約IDメールを転送する。予約IDメールは、インターネット経由で予約管理装置104に送られる。この予約IDメールを送信したメールアドレスにより予約情報を送信すべき自動券売機が特定され、予約管理装置104から自動券売機106aに対して予約情報が送信される。自動券売機106aは予約情報を処理した後、発券処理を行う。既に予約時に決済を行っている場合には、直ちに発券処理が行われて指定券が発行される。また予約時に乗車料金が徴収されていない場合は料金の求めを表示する。その旨および金額は操作表示部に表示される。このときの決済方法は自動券売機106の有する決済機能により現金購入の他、クレジットカードやプリペイドカードを利用することも可能である。料金の要求の際は、決済方法を選択させるための表示がなされる。現金購入の場合には、紙幣投入口202または硬貨投入口203に必要な料金を投入して行い、決済完了後に発券処理が行われる。クレジットカードの場合には、クレジットカード挿入口204にクレジットカードを挿入して行い、またプリペイドカードではプリペイドカード挿入口205に挿入して行い、それぞれの決済完了後に発券処理が行われる。

【0012】このように、指定券を受け取る場合に、携帯端末に記録された予約IDメールを転送することによって指定券を取得する際の認証として利用することができる。携帯端末さえ持っていればユーザーIDを覚えておく必要がなく、非常に便利である。なおユーザーIDを覚えておけば窓口で指定券を受け取る方法と併せて採用

することは可能である。また特に、自動券売機より指定券が発券されることから、窓口で発券作業をする係員にとっては作業負担が大幅に軽減され、また利用者にとっても気軽にかつ非常に簡単な操作で自動券売機を利用した指定券の受け取りが可能である。

【0013】なお、上述した実施の形態では、予約管理装置104から送られた予約IDメールを各自動券売機が有する固有のメールアドレスに対して転送する構成としたが、携帯端末が例えばPDA方式といった光通信機能を備えている場合に、自動券売機にも同様の光通信機能を設けておき、この赤外線通信により予約IDメールを直接転送することも可能である。この場合、予約管理装置104は、指定券の予約を受け付けた際に得られる携帯端末のメールアドレスに対して予約IDメールを送信し、当該携帯端末から自動券売機106にその予約IDメールが光通信によって直接転送された場合に自動券売機106はこれを受信し、一方自動券売機106は、前記予約IDメールを前記予約管理装置104に送信することにより予約IDメールに対応する予約情報が予約管理装置104から送られてくるのでこれを取得し、当該予約情報に基づき前記指定券を発券する。また赤外線通信ではなく、例えばBluetoothといった規格化された特定電波の無線通信方式で携帯端末及び自動券売機の双方に採用して、この無線通信により予約IDメールを直接転送することも可能である。この場合も、予約管理装置104は、指定券の予約を受け付けた際に得られる携帯端末のメールアドレスに対して予約IDメールを送信し、当該携帯端末から自動券売機106にその予約IDメールが無線通信によって直接転送された場合に自動券売機106はこれを受信し、一方自動券売機106は、前記予約IDメールを前記予約管理装置104に送信することにより予約IDメールに対応する予約情報が予約管理装置104から送られてくるのでこれを取得し、当該予約情報に基づき前記指定券を発券する。また、上述した実施の形態では、携帯端末からインターネットに接続し、携帯端末を利用して指定券の予約を行ったが、これに限定されるものではなく、インターネットに接続されブラウジング機能を備えたパソコンやゲーム機から予約を行うものであってもよい。ただし、予約の際に入力する必要があるメールアドレスは、予約IDメールをもって発券しに行く必要があるため、携帯端末のメールアドレスを記入する必要がある。また、上述した実施の形態では、列車の指定券を予約する場合を例に説明したが、これに限定されるものではなく、航空券や長距離バスの指定券、遊園地やイベント・コンサート会場の入場券等であってもよい。これらの指定券が予約された場合に、その引渡しは自動販売機を利用して行うことができるので、窓口で指定券を引き渡す際の手続負担が軽減され、極めて便利なものとなる。

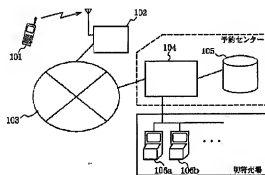
【0014】

【発明の効果】以上説明したように、請求項1記載の発明によれば、指定券の予約を受け付けて当該指定券の発券を行う予約発券システムが、指定券の予約を受け付ける機能、予約情報を管理する機能および電子メールを送受信する機能を備えた予約管理装置と、指定券を発券する機能を備えた固有のメールアドレスが割り当てられた自動券売機からなり、前記予約管理装置は、指定券の予約を受け付けた際に得られる携帯端末のメールアドレスに対して予約IDメールを送信するので予約結果についていちいちメモを取る必要がないばかりか、当該携帯端末から前記自動券売機に割り当てられたメールアドレスに対して前記予約IDメールが転送された場合にこれを受信し、当該予約IDメールの送信先として前記メールアドレスから前記自動券売機を特定して当該自動券売機に予約情報を送信し、前記自動券売機は、当該予約情報に基づき前記指定券を発券するので、指定券を受け取る際の認証として予約IDメールを利用することができ、また窓口にて人手を介さずとも自動券売機を利用して指定券を引き渡すことができ、係員の手続負担が大幅に軽減される。また利用者にとっては自動券売機にいちいち必要な情報を入力しなくても、予約IDメールを転送するのみで発券されるので極めて便利である。また請求項2記載の発明は、請求項1記載の予約発券システムにおいて、前記自動券売機が前記固有のメールアドレスを表示するので、請求項1記載の発明の効果に加えて更に予約IDメールの転送先が明確となる。また請求項3記載の発明は、指定券の予約を受け付けて当該指定券の発券を行う予約発券システムであって、指定券の予約を受け付ける機能、予約情報を管理する機能および電子メールを送受信する機能を備えた予約管理装置と、指定券を発券する機能および光通信機能を備えた自動券売機からなり、前記予約管理装置は、指定券の予約を受け付けた際に得られる携帯端末のメールアドレスに対して予約IDメールを送信するので予約結果についていちいちメモを取る必要がないばかりか、当該携帯端末から前記自動券売機に前記予約IDメールが光通信によって直接転送された場合にこれを受信し、前記自動券売機は、前記予約IDメールを前記予約管理装置に送信することにより前記予約IDメールに対応する予約情報を取得し、当該予約情報に基づき前記指定券を発券するので、指定券を受け取る際の認証として予約IDメールを利用することができ、また窓口にて人手を介さずとも自動券売機を利用して指定券を引き渡すことができ、係員の手続負担が大幅に軽減される。また利用者にとっては自動券売機にいちいち必要な情報を入力しなくても、予約IDメールを光通信により直接転送するのみで発券されるので極めて便利である。

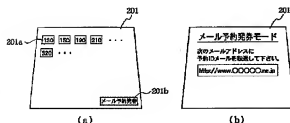
【0015】また請求項4記載の発明は、指定券の予約を受け付けて当該指定券の発券を行う予約発券システムであって、指定券の予約を受け付ける機能、予約情報を

管理する機能および電子メールを送受信する機能を備えた予約管理装置と、指定券を発券する機能および省電力無線通信機能を備えた自動券売機からなり、前記予約管理装置は、指定券の予約を受け付けた際に得られる携帯端末のメールアドレスに対して予約IDメールを送信するので予約結果についていちいちメモを取る必要がないばかりか、当該携帯端末から前記自動券売機に前記予約IDメールが無線通信によって直接転送された場合にこれを受信し、前記自動券売機は、前記予約IDメールを前記予約管理装置に送信することにより前記予約IDメールに対応する予約情報を取得し、当該予約情報に基づき前記指定券を発券するので、指定券を受け取る際の確認として予約IDメールを利用することができ、また窓口にて人手を介さずとも自動券売機を利用して指定券を引き渡すことができ、係員の手続負担が大幅に軽減される。また利用客にとっては自動券売機にいちいち必要な情報を入力しなくても、予約IDメールを無線通信により直接転送するので発券されるのが極めて便利である。

【図1】



【図3】



【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の実施の形態に係る予約発券システムの全体構成を示す概略図。

【図2】自動券売機106の外観構成を示す正面図。

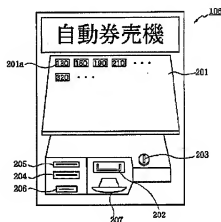
【図3】操作表示部201に表示される操作画面の一例を示す図であり、(a)は通常発券モードの操作画面、(b)はメール予約発券モードの操作画面を示す図。

【図4】予約用ウェブページの一例を示す図であり、(a)は必要事項の入力欄のページ、(b)は予約内容の確認のページ、(c)は予約が完了した旨を伝えるページを示す図。

【符号の説明】

101 携帯端末、102 基地局、103 インターネット、104 予約管理装置、105 データベース、106 自動券売機、201 操作表示部、201a 運賃ボタン、201b 「メール予約発券」ボタン、202 紙幣投入口、203 硬貨投入口、204 クレジットカード投入口、205 プリペイドカード投入口、206 発券口、207 釣銭払出口

【図2】



【図4】

指定席の予約	予約内容
出発駅 <input type="text"/>	以下の内容で予約されます。よろしいですか？
時刻 <input type="text"/>	
目的地 <input type="text"/>	
時刻 <input type="text"/>	
乗客のメールアドレス <input type="text"/>	
ユーザID <input type="text"/>	
パスワード <input type="text"/>	
<input type="button" value="実行"/>	<input type="button" value="決定"/>

(b)

(a)

予約完了しました。
おつて予約メールを送信します。
乗客の順に、指定のメールアドレスに転送して下さい。

(c)

フロントページの続き

(51)Int.Cl.⁷
G 06 F 17/60識別記号
506F I
G 06 F 17/607-マコード' (参考)
506